

障がい者の自立と社会参加を支援する 公益財団法人ヤマト福祉財団



写真は第26回ヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈式(2025年12月4日)。受賞者は、小淵久徳氏(写真前列左から2番目)、久保田静子氏(左から3番目)。

ヤマト福祉財団は、こんな財団です。

(公財)ヤマト福祉財団は、心身に障がいのある人々の「自立」と「社会参加」を支援することを目的に、1993年9月、クロネコヤマトの宅急便の生みの親である、ヤマト運輸株式会社元社長 小倉昌男(当財団初代理事長)の個人資産の寄付により創設されました。

財団の母体となっているのは、ヤマトホールディングス株式会社とそのグループ会社、ヤマトグループ企業労働組合連合会、各グループ会社の社員と労働組合員、約17万名です。法人、個人の賛助会員として、また労働組合のカンパ活動として資金面の援助を続けながら、日常の財団活動を多岐に渡って支えています。なお、2026年3月末現在の財団の基本財産は約60億円となっています。

ヤマトグループの「企業姿勢」においては、「地域社会から信頼される企業」の一環として、「ヤマトグループは、地域社会から信頼される事業活動を行うとともに、豊かな地域づくりに貢献します。特に、障がいのある方を含む社会的弱者の自立支援を積極的に行います。」と障がい者支援への取り組みが明確に示されています。

ヤマト福祉財団は、こんな事業を展開しています。

- 1 障がい者福祉のための各種事業への助成=障がいがある学生たちへの奨学金、障がい者の自立と社会参加に関する事業への助成などを行っています。
- 2 障がい者の働く場「パワーアップフォーラム」の開催=障がい者の働く場や施設・事業所のあり方を実践している講師の方々と考え、地域での取組を交えたフォーラムを開催します。
- 3 「ヤマト福祉財団小倉昌男賞」の贈呈=障がい者の自立支援に、著しく貢献した方々を顕彰するこの賞も事業活動の一つです。
- 4 障がい者の就労等を支援する他団体への助成=障がい者の就労等を支援している他団体や、小倉昌男賞の受賞者などが立ち上げた各種プロジェクトに対し、助成や企画・運営支援を行うことで活動の幅を広げています。
- 5 災害復興・再生支援=震災など、国内緊急災害発生時に被災した障がい者や障がい者施設等を主たる対象として、生活・産業基盤等の復興と再生を支援しています。

※詳しくは(公財)ヤマト福祉財団のホームページをご覧ください。

<https://www.yamato-fukushi.jp/>



©2000 Yamato Welfare Foundation.

2026.5

第27回

ヤマト福祉財団小倉昌男賞 募集



正 賞：雨宮 淳氏作 ブロンズ像「愛」

副 賞：賞金 100万円

募集期間：2026年6月1日～8月31日

公益財団法人ヤマト福祉財団